

地域学校保健委員会だより

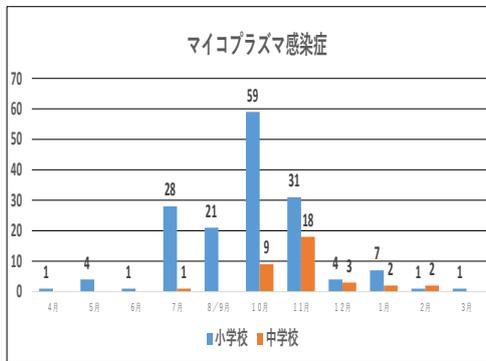
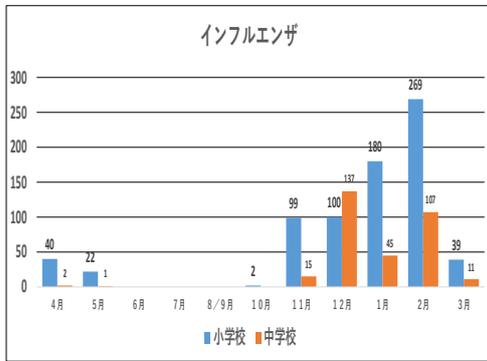
藤原中学校（事務局）、鬼怒川小学校、下原小学校 平成29年12月



平成29年11月15日（水）に地域学校保健委員会を開催しました。地域学校保健委員会とは「藤原中学校区の小中学校の児童生徒の健康や学校を取り巻く環境について、三校で一緒に考え、改善に向けて一緒に取り組みましょう」というものです。

当日は、三校の教職員に加えて、学校医の川村英樹先生、学校薬剤師の和貝直亮先生をお招きして、健康診断の結果や昨年度の日光市の感染症発生状況の統計をもとに児童生徒の健康課題について話し合いをもちました。

【平成28年度日光地区の感染症発生状況】 ※出席停止として報告された人数

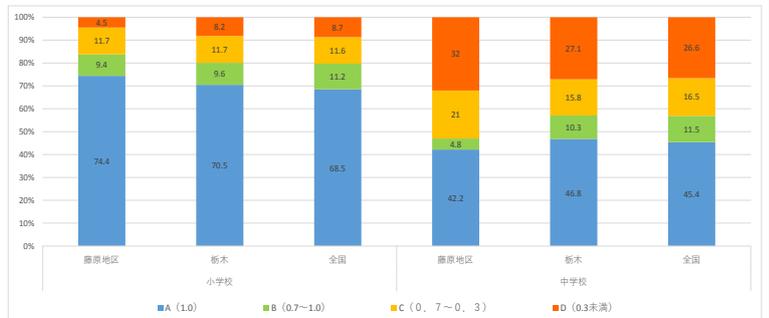


昨年度の日光市の感染症の状況です。多かったのはインフルエンザや溶連菌感染症でした。昨年度はマイコプラズマ感染症が例年になく多くみられたのが特徴的です。このように、感染症の流行にはその年によって特徴があるため、流行の様子を知り予防を心がけることが大切であると、話題になりました。

右図は視力検査の結果です。中学生になると視力が1.0未満の生徒が急に増えています。近年の子どもたちの視力の低下は著しく、生活様式の変化が原因のひとつにあげられています。注意が必要です。

また、ここには載っていませんが、歯科検診結果では、むし歯の罹患者は減っており、よい傾向にあります。反面、歯並びや歯肉炎の問題が増えており、歯科指導の課題のひとつにもなっています。

【平成29年度視力検査結果】



学校医 川村先生より

- ・感染症の予防には、何よりも手洗いが基本である。マスクは、まずは病気にかかっている人がつけることが効果的である。
- ・ドアノブ、机、蛇口など、みんなの手が多く触れるところの清潔が感染症予防のポイントである。
- ・洋式トイレは蓋をしてから水を流すことも大切。

学校薬剤師 和貝先生より

- ・ウイルスによって消毒薬や消毒の仕方が異なるので注意する。特にノロウイルスは塩素系の消毒薬でないと効果がない。学校での教育や指導が必要。
- ・日頃から、手の衛生に注意して、日常の清潔を意識することが大切である。

課題や今後の取り組みについて

- ・感染症予防の基本である「効果的な手の洗い方」を小学生のうちから身につけておくことが大切である。手洗いチェッカーを使うなど、学校で繰り返し指導していきたい。
- ・感染性胃腸炎の予防には、消毒の他にも、嘔吐物や排泄物の処理の仕方が集団発生予防の重要なポイントになる。学校での指導のみならず、家庭へも啓発することを考えたい。
- ・小中学校で連携して、同じ課題に取り組むことはとても効果的である。話題になった、保健指導や感染症の予防について、同じ足並みで取り組みたい。